

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【公開番号】特開2012-188500(P2012-188500A)

【公開日】平成24年10月4日(2012.10.4)

【年通号数】公開・登録公報2012-040

【出願番号】特願2011-51708(P2011-51708)

【国際特許分類】

C 09 J 7/02 (2006.01)

C 09 J 133/04 (2006.01)

C 09 J 11/04 (2006.01)

【F I】

C 09 J 7/02 Z

C 09 J 133/04

C 09 J 11/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月8日(2013.10.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次の成分(A)～(D)

(A)アクリレート系モノマー

(B)(A)と共に重合可能なモノマー

(C)光重合開始剤

(D)光架橋剤

を含有する樹脂組成物と無機フィラーとを含有する粘着剤組成物がシート状に硬化した両面粘着テープであって、無機フィラーは平均粒子径 $30\text{ }\mu\text{m}$ 以下であり、テープの片面側に偏在し、

無機フィラーが偏在している側のテープ面の表面粗さ(中心線平均粗さRa)が0.01～0.50 μm である両面粘着テープ。

【請求項2】

粘着剤組成物が、樹脂組成物100質量部に対して無機フィラー100～500質量部を含有する請求項1記載の両面粘着テープ。

【請求項3】

成分(A)のアクリレート系モノマーと、成分(B)の(A)と共に重合可能なモノマーとの配合割合が、成分(A)100質量部に対して成分(B)を1～20質量部である請求項1又は2記載の両面粘着テープ。

【請求項4】

樹脂組成物の粘度が500～3500mPa・sec(B型粘度計、ロータNo.3、20rpm、25℃)である請求項1～3のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項5】

樹脂組成物と無機フィラーとの配合割合が、樹脂組成物100質量部に対して無機フィラーを100～500質量部である請求項1～4のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項6】

成分(A)のアクリレート系モノマーが、ブチル(メタ)アクリレート、イソアミル(メタ)アクリレート、2-エチルヘキシル(メタ)アクリレート、ノニル(メタ)アクリレート、イソノニル(メタ)アクリレート、イソオクチル(メタ)アクリレート、ラウリル(メタ)アクリレート、又はデシル(メタ)アクリレートである請求項1～5のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項7】

成分(B)の(A)と共に重合可能なモノマーが、(メタ)アクリル酸、N-ビニルピロリドン、イタコン酸、テトラヒドロフルフリルアクリレート、エチル(メタ)アクリレート、2-ヒドロキシエチル(メタ)アクリレート、2-ヒドロキシプロピル(メタ)アクリレート、イソボニル(メタ)アクリレート、エトキシエチル(メタ)アクリレート、ブキシエチル(メタ)アクリレート、フェノキシエチル(メタ)アクリレート、フェニル(メタ)アクリレート、又はシクロヘキシル(メタ)アクリレートである請求項1～6のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項8】

成分(C)の光重合開始剤が、4-フェノキシジクロアセトフェノン、4-t-ブチル-ジクロロアセトフェノン、ジフェノキシアセトフェノン、2-ヒドロキシ-2-メチル-1-フェニルプロパン-1-オン、1-ヒドロキシシクロヘキシルフェニルケトン、ベンゾイン、ベンゾインメチルエーテル、ベンゾインイソブチルエーテル、又はベンジルメチルケタールである請求項1～7のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項9】

成分(D)の光架橋剤が、多官能(メタ)アクリレートである請求項1～8のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項10】

更に、次の成分(E)
(E)タッキーファイヤー
を含有する請求項1～9のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項11】

成分(E)のタッキーファイヤーが、ロジン系タッキーファイヤー、テルペン系タッキーファイヤー、又はテルペンフェノール系タッキーファイヤーである請求項10に記載の両面粘着テープ。

【請求項12】

次の成分(A)～(D)
(A)アクリレート系モノマー
(B)(A)と共に重合可能なモノマー
(C)光重合開始剤
(D)光架橋剤
を含有する樹脂組成物と平均粒子径30μm以下の無機フィラーとを含有する粘着剤組成物を、表面粗さ(中心線平均粗さRa)0.01～0.50μmの剥離シート上に塗布し、粘着剤組成物を光硬化させる両面粘着テープの製造方法。

【請求項13】

粘着剤組成物を剥離シート上に塗布後3秒以上おいて粘着剤組成物を光硬化させる請求項12記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項14】

粘着剤組成物が、樹脂組成物100質量部に対して無機フィラー100～500質量部を含有する請求項12又は13記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項15】

成分(A)のアクリレート系モノマーと、成分(B)の(A)と共に重合可能なモノマーとの配合割合が、成分(A)100質量部に対して成分(B)を1～20質量部である請求項12～14のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項16】

樹脂組成物の粘度が 500 ~ 3500 mPa・sec (B型粘度計、ロータNo.3、20 rpm、25) である請求項 12 ~ 15 のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項 17】

樹脂組成物と無機フィラーとの配合割合が、樹脂組成物 100 質量部に対して無機フィラーを 100 ~ 500 質量部である請求項 12 ~ 16 のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項 18】

成分 (A) のアクリレート系モノマーが、ブチル (メタ) アクリレート、イソアミル (メタ) アクリレート、2 - エチルヘキシル (メタ) アクリレート、ノニル (メタ) アクリレート、イソノニル (メタ) アクリレート、イソオクチル (メタ) アクリレート、ラウリル (メタ) アクリレート、又はデシル (メタ) アクリレートである請求項 12 ~ 17 のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項 19】

成分 (B) の (A) と共に重合可能なモノマーが、(メタ) アクリル酸、N - ビニルピロリドン、イタコン酸、テトラヒドロフルフリルアクリレート、エチル (メタ) アクリレート、2 - ヒドロキシエチル (メタ) アクリレート、2 - ヒドロキシプロピル (メタ) アクリレート、イソボニル (メタ) アクリレート、エトキシエチル (メタ) アクリレート、ブトキシエチル (メタ) アクリレート、フェノキシエチル (メタ) アクリレート、フェニル (メタ) アクリレート、又はシクロヘキシル (メタ) アクリレートである請求項 12 ~ 18 のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項 20】

成分 (C) の光重合開始剤が、4 - フェノキシジシクロアセトフェノン、4 - t - ブチル - ジクロロアセトフェノン、ジフェノキシアセトフェノン、2 - ヒドロキシ - 2 - メチル - 1 - フェニルプロパン - 1 - オン、1 - ヒドロキシシクロヘキシルフェニルケトン、ベンゾイン、ベンゾインメチルエーテル、ベンゾインイソブチルエーテル、又はベンジルメチルケタールである請求項 12 ~ 19 のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項 21】

成分 (D) の光架橋剤が、多官能 (メタ) アクリレートである請求項 12 ~ 20 のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項 22】

樹脂組成物が、更に次の成分 (E)
(E) タッキーファイバー

を含有する請求項 12 ~ 21 のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項 23】

成分 (E) のタッキーファイバーが、ロジン系タッキーファイバー、テルペン系タッキーファイバー、又はテルペンフェノール系タッキーファイバーである請求項 22 記載の両面粘着テープの製造方法。